

講演テーマ 『再生可能エネルギーが拓く地域の未来』

～市民・地域共同発電所のつくり方～



3月28日に、学習講演会「再生可能エネルギーが拓く地域の未来」～市民・地域共同発電所のつくり方～ を、講師に、豊田陽介氏（特定非営活動法人 気候ネットワーク 主任研究員）をお招きして開催し、会員生協役員、他団体、一般の方など53名の方の参加がありました。

近年注目を集める再生可能エネルギーの最新動向について、国の政策、ドイツの先進事例などを紹介いただきました。国内の事例では、市民や地域の主体が中心となった「市民・地域共同発電所」の発展性や展望についてのお話やその開設までのプロセスを具体的に紹介していただきました。



参加した方からは

再生可能エネルギーがエネルギー全体に占める役割やどのような自然エネルギーの種類かわかりました。また、地域の森林資源を利用したエネルギー自給や市民がつくる太陽光発電など、事例を紹介いただき概ね理解できました。市民・地域共同発電所の基本スキームづくりの進め方や事業実施にあたっての課題、資金調達、出資募集の外部委託の注意点など興味を引かれました。

市民地域共同発電所の普及に向けた課題と展望では、今後取り組みが必要と考えられる事項等を知ることができてよかったです。

地域を豊かにしていくために、再生可能エネルギーの取り組みを市民みんなで頑張っていきましょう！と改めて思いました。ありがとうございました。

現実味を感じていなかったが、今日の講演で身近なものと思えた。電力を生み出し、利用しエネルギーの未来を私たちの手で切り開くことができるんだなと素直に感じました。

具体的な事例でわかりやすくお話いただきありがとうございました。島根県では3月24日に松江市に市民共同発電所が開設したばかりです。大変参考になりました。更に頑張りたいと思います

等、一人ひとりにとって市民・地域共同発電所を身近なものとして、具体的に想い描く感想を頂きました。また、島根県生協連へも「ますます勉強の会を開催してほしい」「県、COOPで薪やバイオマス利用の独自の取り組みを他の団体、企業も協力して進めて頂きたい。」等の声を頂きました。